

認定看護師等による出前研修 受講アンケート調査結果

令和8年3月11日（水） 14:30～15:30

ケアハウス常心の里

研修メニュー：緩和ケア

1 あなたの職種は？

職種	人数
看護師	5
介護職	6
その他	3
計	14

※その他（ケアマネジャー3）

2 研修内容は？

満足度	人数
満足できた	14
まあまあ満足できた	0
満足できなかった	0

理解度	人数
理解できた	13
まあまあ理解できた	1
理解できなかった	0

役立ち度	人数
役立つ	14
役立たない	0
わからない	0

3 今後、学びたい研修は？

（複数回答あり）

テーマ	人数
感染管理	4
皮膚・排泄ケア	3
摂食・嚥下障害看護	1
認知症看護	5
緩和ケア	3
救急看護	5
その他	3

※その他

- ・ボディメカニクス（職員の介助技術）
- ・ポジショニング
- ・心疾患の看護

◆受講者の主な意見、感想など◆

○研修内容

- ・終末期の身体的、精神的変化について理解を深められた。看取りケアについてよく学べた。解説がわかりやすかったので理解できた。
- ・痛みの種類、ズキズキ、ジンジン、ピリピリなどで痛む部位が予想できる専門的な知識がすごいと思った。業務にとっても役立つと思った。
- ・苦痛緩和のための医学的な知識やケアを教えていただき癌患者の薬のタイミングや効き方を学べた。看取りの過程、兆候、観察のポイント、疝痛コントロール、日々のケアなどとても勉強になった。
- ・薬の副作用や悪影響などについて不安があったが苦痛を取り除き、穏やかな終末期を過ごせるようにケアに努めたい
- ・テンポよくわかりやすい説明で眠くなる暇もなくアツという間の研修でした。日々入居者を見ていて段階的に具体的に看取りについて確認、再認識できました。
- ・危篤と常日頃口にしている言葉の具体的なタイミング、ご家族への対応（声掛け）の仕方など納得がいった。
- ・いままでたくさんの入居者の最期を看取ってきたが今回のような研修を受講したことがなく、学びを深められた。鎮痛剤の分類など丁寧に説明していただき勉強になった。
- ・現在もがん末期の入所者のケアを行っているので説明された症状が当てはまっていて理解できた。お別れが近づいた時の観察ポイントや痛みのコントロールのあり方など勉強になった。
- ・落ち着いて事実を受け止め入居者の身体機能の低下を考慮し人生を大切にしていってほしい。
- ・がん末期の入居者の痒みを防いであげたいと思っていたので軟膏だけでは防げないことを知りよかった。オキノームの効果と副作用も理解できてとても役に立った
- ・話の内容がとてもわかりやすく先生の話しに引き込まれ1時間では足りないくらいでした。
- ・スピリチュアルな部分が聞きたいと思った。寄り添うという場面、家族が変わる部分が多い施設なので期待していた。
- ・居宅でのターミナルの際にも役立つと感じた。家族への伝え方が具体的でよかった。
- ・汚部屋の話はととても考えさせられた。カレンダーもめくられていない事を反省しました。

次ページへ

認定看護師等による出前研修 受講アンケート調査結果 No.2

令和8年3月11日（水）14:30～15:30

ケアハウス常心の里

研修メニュー：緩和ケア

◆受講者の主な意見、感想など◆ 続き

○その他意見、要望等

・施設の中はある意味閉鎖された環境だと思う。外部から違った目線で見直す場、機会は大切だと感じた。このような機会は貴重でぜひ参加したいし続けてやってほしい。新しい情報もあるし、定期的に学ぶことは働く意欲にもつながる。

看取りは「ネガティブ」なイメージでしたが「いい最期でした」と思っていただけのようなケアを心がけていきたい。何人も看取りを経験して日々のケアについて「これでよかったのか？」と考えていた。本当に勉強になった研修会でした。職員全員が参加できればよかった。

先生のエネルギッシュな語り口、熱い思いが感じられた。今後も先生の思いが楽しみです。

◆受講報告書（代表者）◆

令和7年度の退去者は5名で全員施設での看取りでした。老衰の方、がん末期の方が主ですが、ご家族が共通して希望されることは積極的治療ではなく緩和ケアです。そして少しでもいいから寄り添いたいという気持ちでした。大切な人生最期に携わる私たちとして今回の研修は大変勉強になりました。今後看取りは増えると思いますので、次回は精神支援、家族支援を加えて希望いたします。